

農業への熱い思い分かち合う



菊池地方青年農業者クラブ連絡協議会

菊池地方青年農業者クラブ連絡協議会（4Hクラブ）は12月6日、熊本県立農業大学校の研修交流館で菊池地方青年農業者会議を開き、農業経営改善に向けて、日頃から取り組んだことの成果や農業に対する熱い思いを発表。青年農業者や農業関係組織、JA、行政関係40人の他、農大農学部1、2年生50人が参加しました。会議では、現場での課題や解決法について7人が発表し、1～3位、新人賞を選びました。また、農大生の発表も行い、地域農業発展に向けた展望も分かち合いました。

【入賞者】

1位 坂本 悠三（水稲、大麦、カスミノウ）

IT活用が見える化で、作業の効率化、売上アップで所得向上を実現し、更なる情報活用を目指しています。

2位 山田 浩晶（アスパラガス）

病害虫で被害でもあきらめない「アスパラガス秋口再立茎法」に挑戦。収量減でも、サイズアップで売上高が増加しました。

3位 池田 祥（アスパラガス、ショウガ他）

アスパラガスの収量向上を目指して、補助事業活用で圃場周辺農家と共にボーリング実行で念願の水源を確保し、収穫量を増加。また、次の課題に向けて挑戦中です。

新人賞 松本 龍太（トルコギキョウ）

就農3年目。1年の失敗をバネに、2年目、3年目と年間スケジュールの確認と栽培知識を深めるためにチャレンジを続けています。

※4Hとは、農業の改良と生活の改善に役立つ腕（Hands）を磨き、科学的に物を考えることのできる頭（Head）の訓練をし、誠実で友情に富む心（Heart）を培い、楽しく暮らし、元気で働くための健康（Health）を増進するということが込められています。



課題解決にチャレンジ！失敗こそ解決の糸口！！

菊池地域で農業に取り組む若手農業者の仲間です。何事も楽しむ！をモットーに、経営改善・収益アップ、社会問題改善に向けて問題意識を持ち、課題解決に向けてそれぞれのプロジェクトを立ち上げ取り組んでいます。失敗こそ解決の糸口！行動し発表することで各々の成長を分かち合っています。